

春蠶掃立は

一割減収

最盛期は十日前後

石城郡養蠶業組合では春蠶掃立期に入つたので過般來是れが指導に全力を擧げて居るが本年の掃立豫想は桑園の改植事業並びに施肥不足に依る桑葉の減収等から二割見當の減と見て居る掃立期日は來月八日より十三日頃迄で最盛期は十日前後であらうと

砂地應用

水田を開たく

石城郡農會が試験

本縣濱通りの水田中には海岸の入海を利用干拓して水田としたものが實に千町歩餘の多きに達して居るが中には完全な干拓をせぬ結果水稲の鹽害を受けつゝある向も多いので是れが對策として近く石城郡農會では耐鹽作物品種試験水稲耐鹽耕種法試験砂地利用試験等を行ふ事になつた同試験が完成すれば干拓地並に砂地の利用上非常な利益を見るので結果を期待されてゐると

平第二主任會

平第二小學校にては本日午前十一時學年主任會を開き春期遠足運動開催の件に付

木村氏けふ出發

磐城高等女學校校長を退職した木村寅三氏は全校生徒及び多數有志に見送られ今朝八時四十五分にて出發した中川教頭は綴迄佐藤教諭は勿來迄各々同乗し別れを惜んだ

立替金

請求協議

石城販賣利用組合では廿四日午後一時より団体事務所樓上に役員會を開催昨年度に於ける四倉繭市場への繭代立替金の請求其他に就いて協議する筈

寄附

平第一へ

平第一小學校に對し今回左記の寄附申出があつた

△平營林署長に新任された中村千町氏は令息忠夫繁兩君の編入記念として金二十圓

△平町一丁目十七番地塚本島吉氏は令息正光君の入學記念として茶飲茶碗百ヶ

△平町長橋町香久山酒店

結核豫防に

大々的宣傳

けふの打合せ

方法其他協議

既報來る廿四日の結核豫防デーには平署並に町役場が協力自動車隊を編制して宣傳ビラを撒布する外各醫師が無料にて血液の検査をなし夜間は平署會議室に講演

磐女新校長赴任

明日新任披露式舉行

磐城高等女學校新任校長正木貞二郎氏は小野新町迄出迎へをなした酒井教諭及び大内書記と共に午後三時五十三分着にて赴任したが明日は午前八時新任披露式を舉行し午後一時より職員一同にて歓迎會を催すと

博覽會便り

△毎日の雑踏に參觀者の落し物も仲々多い模様で事務局には拾得物の届出が山積して居る
△好評を博して居る柴田カス團一行

五十嵐喜八郎君は卒業記念として自習圖書館に修養本十冊

草野校の遠足

草野小學校にては明日二十日全校生の春期遠足として松ヶ岡公園や博覽會を訪れると

平職業紹介所報告

求人者の部

△看護婦見習 二十才位
高卒 優良者は東京の産婆學校へ入學せしむ(双葉郡浪江町某醫院)

△女中二十才位 尋卒 給料一ヶ年後八圓迄(浪江町某醫院)

△洋服徒弟 廿一才迄、高卒 仕着外月二圓(東京小石川某洋服店)

職求の部

△採炭夫 三十五才 尋一 修給料面談(栃木縣某)

△雜夫 四十八才 尋卒 給料面談(内郷村某)

△事務員 十八才 中學二修 給料面談(平町某)

△看護人 五十二才 尋四修 給料面談(平町某)

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品

編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を

大塚支製靴部

電話七七番

募 二勇士遺族の 甲慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ、實に振古未會有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり、
今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國家の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、
名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、
然り彼等三勇士こそ日本軍人の總鑑にして大和民族發展の尊き犠牲者なり、
吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け以て聊か勇士の靈を慰んとす
愛國の士奮つて賛せられんことを

主唱 阿部政右衛門
後援 常磐毎日新聞社

一、甲慰金一人金拾錢均一に願ひます
二、右甲慰金は平驛前九ツ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ
三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

五色町	田中ツキ	同	同千代
同	全田ナツ	同	同國男
同	福地トヨ	同	同ハル
同	吾妻ハナヨ	同	同阿部治
同	瀬戸トク	同	同兼千代
同	若尾マチヨ	同	同武
同	片山咲雄	同	同等
同	近藤キセ	同	同チ
同	佐藤ハル	同	同永
同	志賀野ハギノ	同	同精
同	長谷川徳代	同	同ル
同	同エ	同	同芳
同	同エ	同	同博

常磐線旅客の爲め

上下急行列車に一輛宛 臺車を連結

十月一日から實施さる

鐵道省では豫てより常磐地方旅客の爲めに三等寢臺車を連結すべく種々

研究中

であつたが今回愈々上野仙臺間に連結する事と決定した列車は二百一號及び二百二號の上下急行列車にて一輛の収容人員

は五十四名

料金は、上段八十錢中

下段一圓五十錢との事であるが是に使用する寢臺車は目下極力工を急いで居り九月頃に完成を見る豫定である爲め運轉實施は十月一日になるとの事である

數字ある者に

不景氣なし

けふ磐中に參集 統計大會の決議

第三回縣下統計大會は本日午前十時より磐中講堂に開催縣廳各主務官を初め縣下千二百の會員參集昨報の順序にて各協議事項を協議せし午後二時閉會三時より松ヶ岡公園にて盛大な宴會を催した

決議

國家社會が統計に期待すること益々重きは言を俟たざる所にして殊に久しきに瀕る經濟界の不況は著しく數字に對する國民の信頼を増進したり仍て

遠足會

平第一校豫定

平第一小學校にては來る廿六日全校生徒の春期遠足運動會を左の如く行ふと
△尋常科第一學年八幡神社より松ヶ岡公園△第二

娘十八!

春にそむいて

服毒自殺を圖る

愛人に變心されて

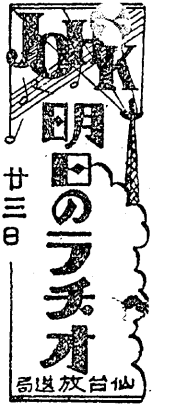
石城郡平窪村大字上平窪字横山金成庄助方同居人金成八重子(ハ)は二十日午前二時頃家人の寢靜まるを待つて多量の猫イラズを嚙下し自殺を圖つたが苦悶中を家人に見えられ直に應急の手當を加へたが生命危篤である

士官學校の

攻防演習に

湯本其他町村が 傳染病豫防注射

來月上旬頃石城郡磐崎村及び湯本、小名濱方面に行はれる遊軍士官學校の攻防演習には既記の如く兩殿下を始め在學生二百餘名並に三



明日の天気

今晚は北風の風晴れた曇つたり明日は天氣よき見込

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話し子供の川柳 西島義豊
- 後七、三〇 講演
- 後八、〇〇 旅送歌劇
- ボニーム 東京府荏原町
- 交響樂團練習所より中
- 後九、〇〇 浪花節「安政
- 疑獄頼三樹三郎」京山若

明日の部

- 後九、三一 奉天より
- 後九、四〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告
- 後九、一〇 料理献立「鮎
- 茶づけ」松本良雄
- 前二、〇〇 家庭講座
- 「盆栽の害虫駆除」平松諒
- 前二、三〇 運動競技
- 「六大學野球リーグ戦入

花見の喧嘩

飲め飲めが因

石城郡内郷村字御臺境農録田千秋(ハ)は十九日午後二時頃松ヶ岡公園にて花見酒に泥酔歸宅せんとした際第二公園下で知人の木村一と出會ひ「どうだ飲まないか」と誘つた處断られた爲め何んの爲めに來たと喰つてかゝり同人を引倒したので大立廻りとなり鎌田は顔面右手等に全治二週間の打撲傷を負ふたと

見習生募集

十四才より十六才迄

高橋時計店

精幸堂 號
— 委細面談 —
平町橋樋小路
(キクチ自動車店向)

申上げます

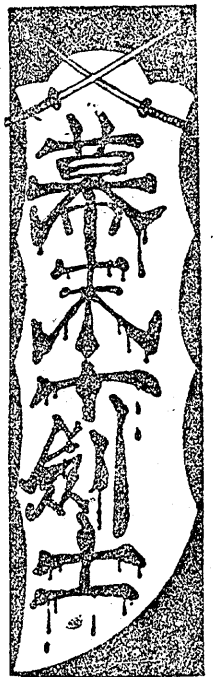
此度聚樂館南隣の「世界」と云ふ力フエーを私の姉が經營する事になりました姉は人の好い割に不運な身の上でした弟として私は何とか幸福な老後を送らせ度いと存じます。充分勉強するさうですから何卒皆様御ひいきを願ひます。

伊藤

一

平映畫界

△平館 松竹時代劇、小泉嘉輔主演「掠奪よめ」松竹現代劇、鈴木傳明、高田稔主演「野に叫ぶもの」日活時代劇、大河内傳次郎主演「御訛次郎吉格子」
「名犬ターム號の貴演」
△世界館 新興キネマ作雲



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演 近藤紫雲畫

【第卅三席】

神影流の達人秋山要手

卑怯者の戒めに

秋山要介は腹の八五郎の申す事を聞き

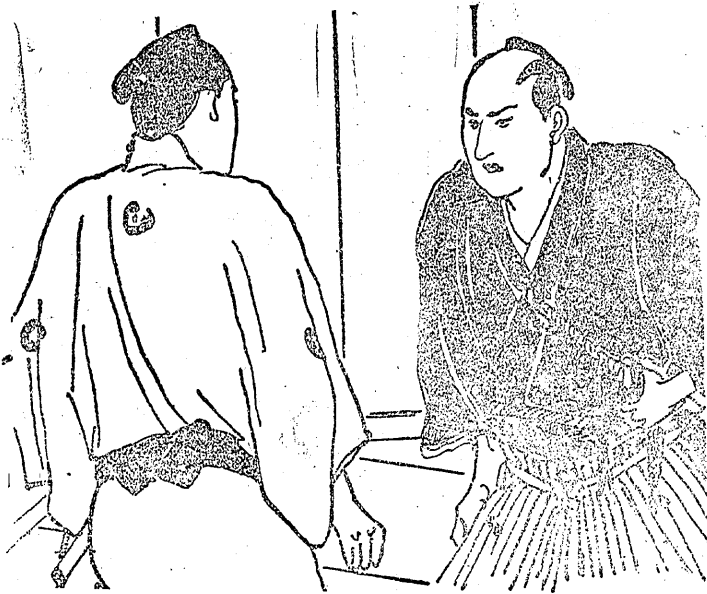
要「武士にあるまじき逸見は卑怯なる行ひをいたす奴だ、試合いたすと誓ひながらこの秋山に及ばざる事を知つて試合いたさざる前に其方共の手を以て俺を射殺さんとは武士の風上にも置けぬ勝の腐り居る奴だ、此上は逸見の許に参り彼を一刀の下に斬すて、卑怯者の戒めにいたす」

悠う云つたが短慮な秋山の身體は怒りの焔の爲に今にも燃えるかと思ふやう、直に地藏前から小川に引返し宿屋の小紅屋に來ると今表戸を開けたばかり

要「急用があつて戻つて來た」
と云ひすて二階座敷に駆け上つたが
要「コレ女酒を持つて參れ冷で一升ほめて持參しろ」
女中びつくりしまして今やつと夜が明けたばかりです、そこで井に酒を入れて持つて來ると息に飲み干しスラリと一刀を引抜きとそれを見てゐたが

要「これならば五人三人斬ればとて鈍るやうな事はあるまい、久々に此忠綱に血を吞まして遣るぞ」
と云ひながらサラリと鞆に納めて衣類を着直し袴の股立を摘み上げて二階から

○「誰だ」
要「秋山である開けろ」



かけ下りると主人に對ひ
要「逸見の處へ參るぞ」
主「へエ大層お早くお出になりますナ」
要「試合に參る」
主「試合をなさるは明日だと聞きましたか」
要「イヤ本日參つて勝負いたす、而もこの一刀で試

○「先生でございますか、只今開けます」
下男が出て來てギョと門を開くとそれへ入つた要介
要「逸見は起きたか」
○「もう起きましてございませう」
要「道場に參ると云へ、早く此事を告げる卑怯者め」

○「恐れ入りました、大分先生は御立腹の御様子でございます、何んぞお氣に召さぬ事がございしましたか」
要「大いに氣に叶はぬ事がある、それは逸見に會つて申し開ける、早々道場に出ると云へ」
悠う云ひ渡して道場へ飛込んだ、暫くするとそれへ來たは逸見多四郎

然すれば容赦いたして遣はす」
多「お黙んなさい不肖ながら多四郎は累系武藝を以て名を知られたもの、眞劍勝負を望まれてそれを恐れる腰拔ではないぞ、これに就いては辨解いたす事もござるが狂人に等しき其許へ何程道理を申開けるとも判るまい、此上は勝負いたしてくれる覺悟しろ」
要「云ふナ此奴、その素ツ首打落してくれる、イヤ參れと」

多四郎之を聞いて大いに驚き
多「コハ思ひもよらざる事を承る」
要「エ、申すナ、貴様は此秋山との試合を避ける爲にかゝる卑劣なる手段を弄し居つたナ、それは貴様の門人八五郎と申す者の白狀によつて相判つたぞ、武士にあるまじき行爲此上は眞劍勝負いたす、此處へ出ろ」
多「秋山どのそれは戯れではあるまいナ」
要「戯れにこのやうな事が申されるか」
多「戯れではないとさても狂人とも思はれぬが」
要「云ふナ、此奴この秋山を恐れるか命は未練があらばそれにて詫書を認めろ、

一刀の鞘を拂つた逸見多四郎は袴を掛け、鉢巻をいたし九郎三郎秋廣の一刀を引抜いてピタリと下段につけた、秋山は青眼にとつて進み寄る、イヤ驚いたは逸見の門弟、先生に怪我のなきやうにと念じたがこれを引分ける事も出来ない内に二人はチャリオンと刀を合せ同時にバツと左右に分れて進み寄る。



淋病 皮膚病 婦人病 胃性
腸病 腸病
門專 十二指 腸虫病
院醫科 院醫科
七〇一話電

●毎度御ひるき様です

●今年店內を改築いたしました

例年の通り 自四月十六日 至同月廿六日

マクローデー

マクローなべ 十五錢

山盛さしみ御一人前 十五錢

すし 十五錢 山かけ 十五錢

鐵火卷 十五錢

●ドゾお花見と博覽會見物の

おかへりにお立寄り下さい

改築の食堂がおまらして居ります

御料理仕出し 平二丁目警察署通り

鮮魚 魚清水卸部

折詰御壽司 電話六三三

勿來製氷一手販賣 電話四六七

御入學御祝に……◇

正確本位のクローム腕時計

計をおすゝめ致します

學生特價 5・50 6・00 6・50 7・00 7・50

奉仕品 5・50 6・00 6・50 7・00 7・50

蓄音器部

春の朗らかな夜に家庭平和を斗る蓄音器を……

四月新譜の内(コロムビア)

軍事小唄(壘壕の唄 從軍記者の唄)

道御 鐵道歌 鐵道小唄

平町五丁目(電話一九五)

店部 計器 堂時 蓄音 金光 省鐵 道御

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番